

ウレタン防水のトップメーカー

# DYFLEX TODAY 15



DYFLEX TODAY・15

## 株式会社 ダイフレックス

本社 〒163-0823 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル23F  
Tel. 03-5381-1555(代表) Fax. 03-5381-1566  
<http://www.dyflex.co.jp/> E-mail:today@dyflex.co.jp

営業推進グループ	Tel. 03-5381-1555	エコウレックス事業グループ	Tel. 03-5381-1188
東京支店	Tel. 03-5381-0231	さいたま営業所	Tel. 048-652-7896
大阪支店	Tel. 06-6209-6660	多摩営業所	Tel. 042-359-1980
札幌営業所	Tel. 011-737-5961	横浜営業所	Tel. 045-442-2071
仙台営業所	Tel. 022-292-1531	名古屋営業所	Tel. 052-735-3991
新潟営業所	Tel. 025-243-4691	広島営業所	Tel. 082-264-8575
千葉営業所	Tel. 047-436-1581	福岡営業所	Tel. 092-526-8887



高配合率100%再生紙を使用しています



p1-2  
防水改修特集  
**「予算がない…」を徹底サポート!**

ダイフレックスは、メーカーとして  
予算に合わせた改修方法をご提案します。

p3-4  
防水改修特集  
**「予算がない…」を徹底サポート!**  
施主の立場で無料現場診断や、  
豊富な工法でサポート致します。



p5  
【新・防水講座 第9回】  
**露出防水のメリットの再確認と  
デメリットへの対処方法**

p6  
**施工事例のご紹介**—学校施設関連の防水改修事例

皆様でご覧下さい

回覧印																			
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ISO9001  
ISO9002  
認証取得  
(JQA-QM5412)



# 防水改修特集

# 「予算がない…」を徹底サポート!

ダイフレックスは、メーカーとして予算に合わせた改修方法をご提案致します。

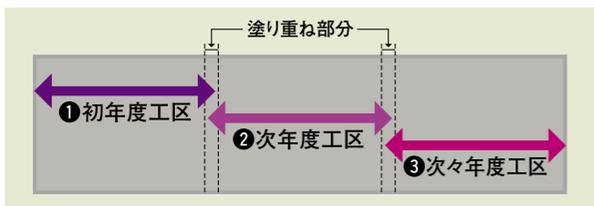


たとえば校舎屋上が、**200~300万**から施工可能に!

厳しい予算の中、防水改修が計画通りに進められない、あるいは、漏水していてもなかなか手がつけられないといったご相談を受けるケースが増えています。そこでダイフレックスでは、それぞれの予算に合わせて改修が可能となるように、従来のように一気に全面改修をせず、たとえば1,000㎡の物件を3年に工期を分け、経費も3分割して施工が可能となるようなご提案も積極的に進めております。「予算に合わせた防水改修」を実現するために、是非一度、当社にご相談ください。

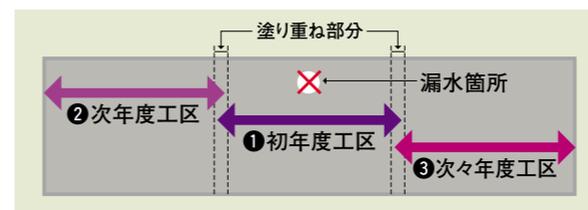
**ウレタン塗膜防水なら、予算に合わせ、工区を複数年度に分割出来ます。**

**Case 1 「改修計画を予定通り進めたい。しかし予算確保が難しい」場合**



たとえば1,000㎡で予算1,000万円となる校舎の屋上改修を、3年に工区を分割。(単年度は約3分の1の工事に)

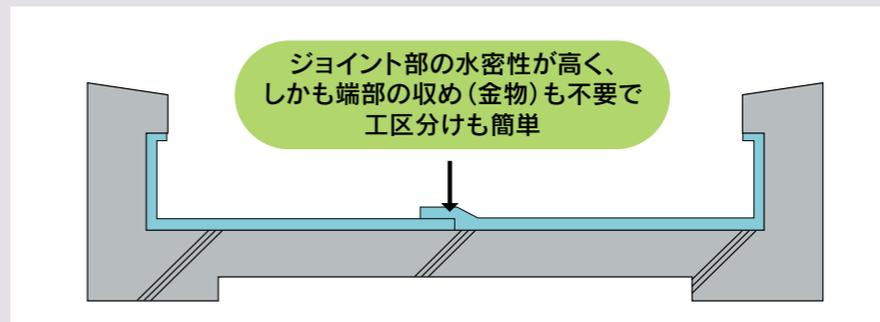
**Case 2 「すでに漏水! しかし対応する予算がない」場合**



すでに漏水している場合、まず漏水箇所近辺から施工し、次年度以降に残りの箇所を施工。

## なぜ、ウレタン塗膜が「工区分割」に有利か?

継ぎあわせ部分の水密性(密着力)が高く、工区分けしても継ぎ目からの漏水の心配が極めて少ない。  
納まり部分に金物を使用する必要が無く、工区分割しても、余計な経費がかかりにくい。



## 分割施工した場合の保証は?

工事完了時点で保証をお出ししますのでご安心下さい。なお物件毎の対応となりますので詳しくは当社までお問い合わせください。

「予算がない…」を徹底サポート!

# 施主の立場で無料現場診断や、豊富な工法でサポート致します。

chapter 2

## 1. まずは、『無料現場診断』をご利用下さい

ダイフレックスでは、メーカーとして『無料現場診断』のサービスを全国で行っております。

“まずは現状を把握したい”という気軽なご相談から構いませんので、ぜひ『無料現場診断』をご利用下さい。

まずは、お気軽に『無料現場診断』をご利用下さい!



## 2. ご要望に合わせた報告・提案を致します

ご要望に合わせて、簡易的な現状報告から、精緻な現場診断、そしてご提案、見積作成まで、ご要望に応じた報告・提案をさせていただきます。

**現状報告書**  
現場を撮影し、分かり易く状況報告致します。

とりあえず、現状がどうなっているかだけ知りたい!

**改修提案書**  
“現状報告”に加えて、対処方法まで具体的に提案します。

どうすればよいのかまできちんと知りたい!

**見積書**  
現場診断に基づいた、根拠の明確な見積を作成します。

いくらかかるのか明確に知りたい!

報告内容をお選び下さい。  
ご要望に合わせてご用意します!

## 3. 豊富な工法でニーズに対応 (一例をご紹介します)

**耐震改修にからめて低コストで防水改修したい**

**【ランスロック工法】**  
既存押え層を撤去後、簡易な下地処理で防水できる機械的固定工法。

**体育館の雨漏りを改修したい**

**【クイックスプレー工法】**  
複雑な形状にも防水膜厚を確保できる超速硬化ウレタン防水。

**シックスクール対策を徹底したい**

**【バリュース工法】**  
トルエン、キシレンといった有機溶剤を使わない無溶剤工法。

**メンテナンスフリーの期間をできる限り長くしたい**

**【VS工法】**  
メンテナンスフリー期間が従来に比べ1.5倍の15年保証工法。

**万一不具合が出たら迅速かつ確実に補修して欲しい**

**【VA工法】**  
**【VS工法】**  
**【VD工法】**  
保証履行をより確実にする保険付工法。

**実績豊富な安心できる防水工法を採用したい**

**【DD工法】**  
国交省X-1工法の原型となった26年のロングセラー工法。

1981年施工物件(某病院)

同封のFAX返信票にてお申し付けください!

**「防水改修カタログ」差し上げます!**

同封のFAX送信票にてお申し付けください。

●防水改修に関するお問合わせは?  
本誌裏面表記の各営業所まで、または同封のFAX送信票にてお尋ねください。

新・防水講座 第9回

# 露出防水のメリットの再確認と、デメリットへの対処方法

前回の当講座に対するアンケートで、『“保護防水”は防水層の状態が見えないことがマイナスと感じていますか?』に対し、2:1の割合で「YES」との回答を頂きました。“防水層の状態を目視で確認できる”必要性の高まりを実感できます。ただし同時に露出防水を使うことへの不安も聞かれています。そこで今回は、露出防水のメリットを再確認しつつ、デメリットの克服方法概要にも触れることとします。

(防水層の状態が見えないことはマイナス?)



本誌アンケート結果より

## 露出防水のメリット

劣化状態に応じた経済的な対処法を選択できる。

	露出防水の場合	保護防水の場合
漏水している場合	防水層の痛み具合を目視で確認できるため、漏水要因を特定しやすく部分補修が可能。補修費用も最小限に。	痛み具合を目視で確認できないため漏水要因の特定が困難。安全を期す場合は全面改修となり改修費用大。部分補修を選択する場合は漏水要因の特定が推測であるため推測が外れると再補修を強いられることも。
漏水していない場合	目視で確認できるため、漏水していても防水層の痛み具合を確認可能。劣化が進行していれば早期発見、早期補修で補修費用も最小限に。逆に防水層が痛んでなければ安心して経過観察できる。	漏水するまで防水層が痛んでいるか否か判断つかないため漏水した際は計画外の緊急出費となることが多い。また、局部劣化か全面劣化かの判断がつかないため、局部劣化の場合は必要以上の費用を投入してしまうことも。



## 露出防水のデメリット

次のような課題があり、それに対応しないと上記メリットが活かせない。

下地水分が気化する際の水蒸気圧による防水層のふくれ

外部からの衝撃による防水層の破損

下地挙動に伴う防水層の破断

## デメリットへの対処方法

最も効果的なのは、異種防水材料を組み合わせ、デメリットの相殺を図った『複合防水』工法の採用。

特に上層部に液状材料(ウレタンやFRP)を使用すると、オーバーレイ(増し塗りで防水層を厚膜化、増強させる改修方法)が可能のため、低コストでの改修を実現。LCC低減に有効。



『複合防水』は、露出防水の欠点を補うだけでなく、経済的にも大きなメリットをもたらします。

# 施工事例のご紹介

## 学校施設関連の防水改修事例



### 校舎屋上の改修

■採用  
DD-PAS工法



### 校舎外壁の改修

■採用  
ネオフレックス工法



### 体育館屋根・外壁の改修

■採用  
クイックスプレー工法  
ネオフレックス工法

同封のFAX返信票にてお申し付けください!



「防水改修カタログ」差し上げます!

同封のFAX送信票にてお申し付けください。

### ●防水改修に関するお問い合わせは?

本誌裏面表記の各営業所まで、または同封のFAX送信票にてお尋ねください。

(4ページでご紹介したカタログと同一のものです)

